

## Japan-YWP 第5回国際シンポジウム開催報告

Japan-YWP 企画委員

長岡工業高等専門学校 押木 守

概要：

日時： 2016年8月27日（土） 10：00～12：00

会場： 中央大学後楽園キャンパス 5号館2階 5234号室

講演者

Rajendra Khanal (東京大学) “Early career research experience in Japan”

渡利 高大 (長岡技術科学大学) “Global Research Strategy for Future Carrier”

北島 正章 (北海道大学) “Young Researchers, Be Ambitious and International!”

主催：IWA Japan National Young Water Professionals (Japan-YWP)

共催：公益社団法人 日本水環境学会

本文：

2016年8月27日（土）に、WET2016のプレイベントとして、公益社団法人日本水環境学会との共催でJapan-YWP第5回国際シンポジウムを開催いたしました。今回は、「若手研究者の国際キャリアの育成を考える」と題し、国内外でご活躍されている3名の若手研究者から話題提供を頂きました。

東京大学博士研究員のRajendra Khanal博士は、母国ネパールで修士号を取得され、博士号を東京大学で取得されました。ご講演は「*Early career research experience in Japan*」のタイトルで発表され、ネパールにおける都市環境問題をご紹介頂いた後、東京大学に留学され、その後、自身の研究活動を開始された背景をご説明いただきました。Khanal博士はIWAスペシャリストグループAssessment and control of hazardous substances in waterのmanagement committeeにおいてYWP代表としてご活躍されており、そうした国際活動を担う人材に求められる能力の要点を分かり易くご紹介頂きました。国際的に活躍するためにはコミュニケーション能力および人材ネットワークの構築が重要であることをご指摘頂き、大変有益なご講演でした。

第二講演者の渡利高大さんは長岡技術科学大学で修士課程を修了され、現在博士課程に在籍されています。ご講演のタイトルは「*Global Research Strategy for Future Carrier*」で、長岡技術科学大学の長期インターンシップおよび JST-JICA SATREPS ESCANBER プロジェクトにおいてベトナムでご研究された際の様子についてご紹介頂きました。また、渡利さんが現在所属されている double degree program の概要および利点についてご紹介頂きました。Double degree program は日本国内ではあまり耳にする機会がなく、聴衆の皆さんは興味を持って耳を傾けられていました。

北海道大学の北島正章助教は、東京大学で博士号を取得された後から渡米され、米国およびシンガポールで博士研究員を務めたご経験をお持ちです。ご講演は「*Young Researchers, Be Ambitious and International!*」のタイトルで、ご自身が留学始めるに至った過程から米国・シンガポールでの研究ライフについてご紹介を頂きました。

また、若手研究者へのメッセージとして、苦勞してでも厳しいキャリアを選択すべきこと、研究ゴールを明確にすること、留学先の研究室について事前に情報収集を行うことについてご指摘を頂き、現在留学を検討している若手研究者にとっても有用なメッセージを頂きました。

本シンポジウムでは、留学生、日本人学生、若手研究者を中心として、総勢 31 名の参加人数に恵まれました。当日の発表スライドは YWP 会員向けに配布しておりますので是非ご覧下さい。今後も Japan-YWP のイベントへの参加を宜しく願いいたします。



北島正章助教（北海道大学）



聴衆の様子